

| | | | | | | |
|--------|--|--|-------------------|-----|------------|---|
| 科目名 | 看護解剖生理学Ⅲ 消化器系・腎泌尿器系・内分泌系・生殖器系 (消化・吸収・排泄・内部環境を整え、生殖を維持するしくみ) | | | | DP4 DP6 | 看護高等課程 |
| 学年 | 1年 | 分野 | 専門基礎 人体のしくみと働き | 時間数 | 27時間 | 担当 教員 専任(基幹)教員(14)、 外部講師(4.5) 専任(基幹)教員(8.5) |
| 科目概要 | 人体の解剖生理学の知識は、看護の重要な役割である日常生活行動の援助の土台となる。また、ほとんどの日常生活行動は、複数の器官が関与して行われる複雑な機能であり、生活行動の観点から学ぶ。ここでは、消化器系・腎泌尿器系・内分泌系・生殖器系の解剖生理から消化・吸収・排泄・内部環境を整え、生殖を維持するしくみを学ぶ。 | | | | | |
| 到達目標 | 1. 消化・吸収し、排泄するしくみを理解することができる。 2. 尿を作り老廃物を排泄するしくみを理解することができる。 3. 内部の環境を整えるしくみを理解することができる。 4. 生殖を維持するしくみを理解することができる。 | | | | | |
| 回数 | 単元項目 | 授業内容 | | | 形態 | 担当教員 |
| 1~7 | 消化器系の器官 | 口腔、食道、胃、小腸、大腸、肝臓及び胆嚢、膵臓、腹膜の機能 | | | 講義 | 専任(基幹)教員 |
| | 消化器系の血液循環と神経 | 消化器系の血液循環、消化器系の神経 | | | | |
| | 消化と吸収の生理 | 口腔、胃における消化、小腸における消化と吸収 大腸における吸収と排便、肝臓の働き | | | | |
| | エネルギー代謝 | 3大栄養素、基礎代謝 | | | | |
| | 体温とは・体温調節 | 体熱の産生・放散、体温調節の仕組みと異常 | | | | |
| 8~9 | 泌尿器系の器官 尿の生成と排泄の生理 | 腎臓(腎臓の構造と機能、尿の生成、血液成分の調節)、尿管、膀胱、尿道 尿、尿の生成、腎クリアランス、排尿 | | | 講義 | 外部講師 |
| | 生殖器系の器官 | 女性生殖器、男性生殖器 | | | | |
| 10~13 | 内分泌腺 | 甲状腺(甲状腺ホルモン・TSH・T3・T4) 副甲状腺(PTH) 下垂体(成長ホルモン、甲状腺刺激ホルモン 副腎皮質刺激ホルモン、性腺刺激ホルモン プロラクチン) 後葉(バソプレシン、オキシトシン) 副腎皮質(電解質コルチコイド、 糖質コルチコイド、ステロイドホルモン) 副腎髄質(アドレナリン、ノルアドレナリン) 松果体(メラトニン、ゴナドトロピン) 膵臓(インスリン、グルカゴン) | | | 講義 | 専任(基幹)教員 |
| 14 | 試験 | (1時間) | | | 試験 | |
| 評価基準 | 専任(基幹)教員(消化器:50点、内分泌:30点)、外部講師(20点)の合計100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。 | | | | | |
| 評価方法 | 出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。 | | | | | |
| 教科書 | 看護学入門1 人体のしくみと働き 看護学入門9 成人看護Ⅱ腎・泌尿器疾患患者の看護 必要時、資料等は配布する。 | | | | | |
| 履修上の注意 | | | | | | |